

成相区及び介護関係者の皆さまへ

令和 3 年 8 月 3 日

NPO 法人社会生活サポートチーム風を詠む  
(デイサービス 風彩・居宅介護支援事業所風を詠む)  
安曇野市豊科南徳高 4 4 2-7 (見岳町第 2 町内)  
TEL 0263-71-3277 (代)  
FAX 0263-71-3287  
担当者 玉井  
ホームページ「デイサービス風彩」  
<http://kazewoyomu.com>



ご連絡は  
こちらまで  
(^^)⇒



## 【 老 い じ た く お 役 立 ち 情 報 】

### ① 感染状況拡大により 8 月の講演会は延期します

首都圏を中心に新規感染者が過去最高を更新しており、夏休みの観光やお盆の帰省を前に、長野県警戒レベルも上がって来ました。この状況を勘案し、8月18日開催は延期いたします。皆様もご自愛くださいませ。

次回予定：令和3年10月20日（水）午後6時半～

(注) 開催の可否は10月上旬の回覧板で正式にお知らせします。



R3年4月21日感染防護で開催された講演会のご様子です！

### ② 「エンディングノート」を無料でお配りしています！

講演会で使用しているエンディングノート（資料）を差し上げます。  
お気軽にお電話下さい。時節柄、郵送（無料）でお届けさせていただきます。

### ③ 宮澤先生コラム連載（第5話：新型コロナウイルスと老いじたくについて）

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないどころか、最近ではウイルスの変異株が猛威を振るいつつあり、収束の兆しが見えません。感染拡大が始まった頃から著名な方も感染によって亡くなるなど、「死」を身近に感じるようになったのは私だけではないと思います。

もし、重症化して入院した場合、患者への面会は原則禁止です。重症化した場合、患者は家族に相談することもできず、家族は回復することを待つのみとなります。つまり、感染して重症化した場合、自分自身の今後の希望を叶える対策や相続対策といった「老いじたく」を行うことが極めて難しくなります。

感染拡大情勢の前から、「エンディングノートや遺言書を作っておいた方がいい」ということは、誰もが耳にしていると思います。しかし、実際に行動を起こす方は、実はあまり多くありません。「いつでも作れる」「まだ早い」という誤解から、「そのうち作ればいい」になってしまっているのかもしれない。新型コロナウイルスは、自分や家族の死について考え直す機会をくれたようにも感じます。

昨今の感染急拡大情勢を受け、8月18日に予定していた NPO 法人社会生活サポートチーム風を詠む様主催の成相地区講演会が、感染防止のため延期となると伺い、大変残念に思います。しかし、こうした情勢の今だからこそ、死を身近に感じるようになった今だからこそ、自分や家族が幸せになるための「老いじたく」を考えなおすべきではないでしょうか。感染拡大情勢が続き、我慢の日々が続きますが、そういう機会と捉えれば、決して残念なことばかりではないと信じています。

